

互選ニ依ル

總代會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條 總代ハ二人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十六條 總代ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ時期、場所、會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十七條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十八條 解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ總會ヲ招集ス

前項ノ決議ハ總所屬聯合會及總所屬組合ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス但シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ結果ヲ生スヘキ場合ハ總所屬聯合會及總所屬組合ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ十以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス但シ昭和七年法律第三十號附則第三條ノ規定ニ依リ本會ノ組織ヲ變更シテ保證責任ト爲ス場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラス

第四十條 本會ハ總代會ノ推薦ヲ經テ學識經驗アルモノヲ顧問ト爲スコトヲ得

顧問ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第四十一條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第四十二條 本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

技師及技手ハ理事及主事ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第四十三條 本會ノ事業年度ハ八月一日ニ始マリ翌年七月三十一日ニ終ルモノトス

第四十四條 本會ニ於テ賣却スル物ノ種類左ノ如シ

- 一 肥料、農具、種苗、飼料
- 二 穀物、穀粉、味噌、醬油、砂糖、菓子、酒類、清涼飲料類、罐詰、麵類、乾物類、茶
- 三 莫大小類、タオル、足袋、綿絲、織物、綿、油、和洋紙、文房具類、石鹼、靴、履
- 四 其ノ他總代會ノ決議ヲ經タル物

第四十五條 本會ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

- 一 肥料ノ製造及配合、飼料ノ製造及配合、農具ノ製作、メリヤス、タオル、足袋ノ製作
- 二 精穀及製粉、味噌ノ醸造、菓子ノ製造、清涼飲料類ノ製造、罐詰類ノ製造、麵類ノ製造、藥品ノ製造

保證責任全國購買組合聯合會定款



三 種苗ノ生産、茶ノ生産

四 其ノ他總代會ノ決議ヲ經タル物、  
第四十六條 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ註文ニ應シ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ便宜買入レ又ハ生産スルモノトス  
第四十七條 購買申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込者ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第四十八條 所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル物ノ代價ハ理事之ヲ定ム  
第四十九條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬聯合會及所屬組合ニ注文物ノ見積代金ノ一部ヲ提供セシムルコトヲ得

第五十條 所屬聯合會及所屬組合カ本會ヨリ購買物引渡シノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス  
前項ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ別ニ定ムル期間内ニ引取ヲ爲ササルトキハ購買物代價ノ五分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徵收ス但シ理事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ過怠金ノ徵收ヲ免除又ハ輕減スルコトヲ得

第五十一條 所屬聯合會及所屬組合ハ購買物引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ理事ニ於テ止ムコトヲ得サル事由アリト認ムルトキハ代金支拂ノ延期ヲ承諾スルコトヲ得

前項但書ノ場合ニ於テハ百圓ニ付日歩四錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ徵收ス  
第五十二條 理事代金支拂ノ延期ヲ承諾スル場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ所屬聯合會及所屬組合ヲシテ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス  
第五十三條 本會ニ餘裕金アルトキハ産業組合中央金庫又ハ總代會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入ル、モノトス  
第五十四條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失填補及分擔

第五十五條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ特別積立金、配當金、特別配當金、役員賞與金、退職給與積立金、別途積立金又ハ繰越金ト爲スモノトス  
第五十六條 剩餘金ノ配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年六歩以下トス

剩餘金ノ特別配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヨリ購買シタル物ノ價額ニ應スルモノトス但シ總代會ノ決議ニ依リ購買シタル物ノ價額ニ對スル配當ノ率ハ物ノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得  
前二項ノ配當ハ拾圓未満ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲ササルモノトス

第五十七條 第十八條ノ二ノ規定ニヨリ別途積立金ヲ以テ填補シタル損失ノ殘額及其ノ他ノ損失ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總代會ノ決議ニヨリ特別積立保證責任全國購買組合聯合會定款



金及準備金ヲ以テスルコトヲ得  
 第五十七條ノ二 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ所屬聯合會及所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル所屬聯合會及所屬組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

### 第六章 加入増口及脱退

第五十八條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金壹圓及左ニ掲クル書類ヲ添付シテ理事ニ提出スコトヲ要ス但シ第一年度及第二年度ニ於テハ加入金ヲ徴セズ  
 一 定款ノ謄本  
 二 最近作製シタル貸借對照表  
 三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本  
 申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事ノ氏名、住所ヲ附記スルコトヲ要ス  
 理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス  
 加入ノ効力ハ第六十條ノ場合ヲ除クノ外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス  
 第五十九條 所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ徴收スヘキ増口金ハ前條ノ加入金ト同額トス  
 第六十條 持分ヲ譲渡サムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十八條ノ規定ヲ準用ス

第六十一條 所屬聯合會及所屬組合カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十二條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總代會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買代金ノ支拂ヲ怠リ二箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
- 三 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十三條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ拂込済出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ノ半額ヲ拂戻スモノトス

### 第七章 解散

第六十四條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

### 第八章 附則

保責任全國購買組合聯合會定款



第六十五條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ第一回通常總代會ニ於テ之ヲ改選ス(理事監事氏名略)

第六十六條 昭和五年九月定款第十三條變更前ニ加入シタルモノ、第一回後ノ出資拂込方法ハ加入後三事業年度ヲ經過シタル年ヨリ毎年十二月末日迄ニ出資一口ニ付金百圓以內ヲ拂込ムモノトス但シ持分ヲ讓受ケテ加入シタルモノ又ハ増口シタルモノニ付テハ其出資第一回拂込ノ日ヨリ起算ス  
前項ノ金額ハ理事之ヲ定ム

第六十七條 本會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ販賣スルヲ以テ目的トス  
第六十八條 本會ハ保證責任大日本生絲販賣組合聯合會ト稱ス  
第六十九條 本會ノ組織ハ保證責任トス  
第七十條 保證金額ハ出資一口ニ付金壹千圓トス  
第七十一條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス  
第七十二條 本會ハ主タル事務所ヲ神奈川縣橫濱市中區北仲通五丁目五十七番地ニ、從タル事務所ヲ兵庫縣神戸市神戶區明石町三十二番地ニ置ク  
第七十三條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及聯合會原簿ノ提出ハ毎年六月三十日取纏メ其ノ後二週間以內ニ之ヲ爲ス  
第七十四條 産業組合法第四十條第二項ニ依ル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報、中外商業新報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス  
第七十五條 本會ハ生絲販賣事業ヲ行フ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ構成ス

### 保證責任 大日本生絲販賣組合聯合會定款

#### 第一章 總則

- 第一條 本會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ販賣スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ保證責任大日本生絲販賣組合聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス
- 第四條 保證金額ハ出資一口ニ付金壹千圓トス
- 第五條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス
- 第六條 本會ハ主タル事務所ヲ神奈川縣橫濱市中區北仲通五丁目五十七番地ニ、從タル事務所ヲ兵庫縣神戸市神戶區明石町三十二番地ニ置ク
- 第七條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及聯合會原簿ノ提出ハ毎年六月三十日取纏メ其ノ後二週間以內ニ之ヲ爲ス
- 第七條 産業組合法第四十條第二項ニ依ル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報、中外商業新報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス
- 第八條 本會ハ生絲販賣事業ヲ行フ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ構成ス

大日本生絲販賣組合聯合會定款



第九條

本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ之ヲ算定ス
  - 二 準備金ニ對シテハ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ本會ニ支拂ヒタル販賣歩合金ニ應シ年度毎ニ算定加算ス
  - 三 其他ノ財産ニ對シテハ本會解算當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ拂込済出資額ニ應スルモノトス
- 本會財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス
- 第十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス但シ第五號及第六號ノ事項ハ每事業年度末毎ニ之ヲ報告スヘシ
- 一名 名
  - 二 事務
  - 三 存立時期
  - 四 出資一口ノ金額並保證金額
  - 五 出資ノ總口數
  - 六 拂込ミタル出資ノ總額

第二章 出資及積立金

第十一條

出資一口ノ金額ハ金壹千圓トス

所屬聯合會及所屬組合ハ百口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得

第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參百圓トス

第十三條 第一回後ノ出費拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付金百圓以内ニ於テ其ノ拂込金額及期日ヲ定ム

前項ノ拂込金額及期日ハ理事之ヲ定メ一箇月以前ニ所屬聯合會及所屬組合ニ通知スルモノトス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十五條 本會ハ出資總額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 加入金、増口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ルモノトス

第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ別途積立金、役員退職給與積立金及職員福利施設積立金ヲ積立ツルコトヲ得、役員退職給與積立金及職員福利施設積立金ハ役員退職給與規程及職員福利施設規程ニ依リ處分スルモノトス

役員退職給與規程及職員福利施設規程ハ總會ノ決議ニヨリ之ヲ定ム

第十八條 準備金及別途積立金ハ損失填補ニ充ツルモノトス但シ別途積立金ハ總會ノ決議大日本生絲販賣組合聯合會定款



ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十九條 準備金及別途積立金ハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預ケ入又ハ之ヲ以テ産業債券、國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券若ハ農工債券其ノ他總會ノ決議ヲ經タル社債券ヲ買入ルル外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第二十一條 本會ニ理事十三名、監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名、副會長二名、常務理事一名ヲ互選ス、會長ハ一ニ當ル會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ副會長ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム、會長、副會長共ニ事故アルトキハ常務理事之ニ代リ會長、副會長及常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年、監事ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス、副會長、副會長及常務理事ノ任期ニ從フ

補關選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十三條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補關選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補關選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但副會長及常務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニヨリ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十五條 通常總會ハ毎年一回七月又ハ八月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一、理事カ必要ト認メタルトキ
- 二、監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三、理事關ケタルトキ

四、産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十六條 總會ノ招集ハ少クトモ二週間前ニ書面ヲ以テ所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

大日本生絲販賣組合聯合會定款



第二十七條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十八條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ開會スル事ヲ得ス總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會又ハ所屬組合ノ除名、解散及合併ノ決議ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限り豫メ通知ナキモノト雖モ其ノ決議ヲ爲ス事ヲ得

第二十九條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ副會長ノ一人之ニ當リ會長、副會長共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムル事ヲ得

第三十條 總會ニ出席スル所屬聯合會及所屬組合ノ代表者ハ三名以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十一條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十二條 總會ノ議事ニ關スル規則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十三條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總會ノ推薦ヲ經テ會長之ヲ囑託シ本會ノ事業ヲ援助ス

相談役ハ理事之ヲ推薦シ其ノ任期ハ三箇年トス但再推薦ヲ妨ケス相談役ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付キ理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十四條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第三十五條 本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

技師及技手ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

### 第四章 事業ノ執行

第三十六條 本會ノ事業年度ハ七月一日ニ始マリ翌年六月三十日ニ終ル

第三十七條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ生絲トス

第三十八條 削 除

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ノ全額ヲ本會ニ出荷シ

大日本生絲販賣組合聯合會定款



販賣ヲ委託スルモノトス

止ムコトヲ得サル事由ニヨリ前項ニ據リ難キモノハ理事ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第三十九條ノ二 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ規程ニ違反シテ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ他ニ出荷シタルトキハ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

過怠金ノ額及徵收ニ關スル規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會指定ノ時期方式ニ依リ繭受入狀況、製絲狀況及出荷スヘキ生絲又ハ本會ノ必要ト認メタル事項ニ付報告スルヲ要ス

前項報告中變更ヲ生シタル場合ハ遲滯ナク之ヲ報告スルモノトス

第四十一條 所屬聯合會及所屬組合ハ製絲及生絲ノ出荷ニ付本會ノ指示アリタルトキハ之

ニ從フコトヲ要ス

前項ノ出荷ニ付荷造費、運賃其ノ他本會到着迄ニ要スル費用ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ負擔トス

第四十二條 本會ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ生絲ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ送狀ニ照シテ查收シ之ヲ通知スルモノトス

受入レタル生絲ニ付テハ本會其ノ責ヲ負フ但シ不可抗力ニ據ル場合ハ此ノ限りニアラス

第四十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會へ出荷シタル生絲ニ付販賣時期、値段、賣先又ハ販賣方法ニ付指定スルコトヲ得ス

第四十四條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ生絲ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニテ理事之ヲ定ム

前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩三錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十四條ノ二 本會ハ假渡金調達ノ爲必要アル場合ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ受入タル生絲ヲ擔保ニ供スルコトヲ得

第四十五條 所屬聯合會及所屬組合ニ配分スヘキ生絲販賣代金ノ配分期間及品等數量査定方法並各品等間ノ格差決定方法ハ總會ニ於テ之ヲ定ム生絲販賣代金ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ニ對シ前項ニ依リ定メタル格差ヲ計算シ其ノ數量ニ應シテ配分ス

毎配分期間ノ配分ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ヲ全部賣了シタルトキ之ヲ行フ

但シ理事必要ト認メタルトキハ適宜配分期日ヲ定メ其ノ期日迄ニ賣了シタルモノヲ以テ

締切リ配分ヲナシ賣了シ能ハサリシモノアリタルトキハ之ヲ次期配分期間ニ編入スルコトヲ得

賣了前ト雖モ品等數量ノ査定ヲ了シタルモノニ對シテハ總會ノ定メタルトコロニ依リ假配分ヲナス假配分ニ對シテハ利息ヲ附セズ

第四十五條ノ二 假渡金ハ假配分金ヲ以テ相殺シ假配分金ハ配分金ヲ以テ相殺スルモノトス



第四十五條ノ三 第四十五條ニ據リ能ハサル生絲販賣代金ハ代金受入ノ都度其ノ荷口毎ニ之ヲ精算ス

第四十六條 削 除

第四十七條 削 除

第四十八條 本會ハ一俵ニ付九圓以内ニ於テ理事ノ定メタル歩合金ヲ徴シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第四十九條 本會ハ受託生絲ニ付キ特殊ノ勞費ヲ要シタルモノニ付テハ實費ヲ徴シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第五十條 削 除 生絲ノ運賃又ハ保險料其ノ他ヲ立替金ニ付亦同シ

第五十一條 本會ニ餘裕金アルトキハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ルモノトス

第五十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第五十三條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ仍殘餘アルトキハ別途積立金、配當金、特別配當金、役員賞與金、役職員退職給與積立金、職員福利施設積立金又ハ繰

越金ト爲スモノトス

第五十四條 配當金ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

特別配當金ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヲ通シ賣却シタル生絲ノ數量ニ應スルモノトス

配當金ハ拾圓未満ノ金額ニ對シ特別配當金ハ一俵未満ノ端數ニ對シテハ之ヲ爲ササルモノトス

第五十五條 損失ノ填補ハ別途積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ別途積立金及準備金ヲ以テ填補スルコトヲ得

第五十五條ノ二 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬聯合會及所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル聯合會及組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入増口及脱退

第五十六條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金壹圓及左ニ掲タル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金ヲ徴セス

一定款ノ騰本 大日本生絲販賣組合聯合會定款



- 二 最近作製シタル貸借對照表及最近年度ノ事業報告書
  - 三 設備釜數及最近三ヶ年間に於ケル生絲販賣高（輸出向國用向各種類別數量）
  - 四 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本
  - 五 設立許可ノ年月日並理事ノ氏名住所
- 理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス
- 加入ノ効力ハ第五十八條ノ場合ヲ除ク外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス
- 第五十七條、所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ前條第一項第一號乃至第五號ノ書類ニ付テハ此ノ限りニ在ラス
- 前項ノ増口金ハ前條ノ加入金ト同額トス
- 第五十八條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ得ルコトヲ要ス
- 持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十六條ノ規定ヲ準用ス
- 第五十九條 所屬聯合會及所屬組合カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十ヶ月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス
- 第六十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込又ハ過怠金ノ納付ヲ怠リ二ヶ月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 第三十九條ノ規定ニ違反シテ生絲ヲ出荷シタルトキ
- 三 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
- 四 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十一條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ノ半額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ノ四分ノ一ヲ解散所屬聯合會及所屬組合タル資格ノ喪失其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ヲ拂戻スモノトス

### 第七章 解散

第六十二條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニヨリ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

### 第八章 附則

第六十三條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス



### 定款第三十九條條二項ニヨル 除外ニ關スル規定

(昭和八年六月二十八日理事會決議)

- 一 定款第三十九條第二項ニヨル除外ノ承認ヲ求メントスルモノハ會長宛左ノ事項ヲ詳記シタル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
  - 1 年度内生絲販賣豫定俵數及本會ニ出荷ス可キ豫定俵數
  - 2 除外ヲ求ムル期間及其期間内ノ除外俵數
  - 3 除外ニヨル出荷先又ハ賣却先及其出荷又ハ賣却ヲ要スル理由
- 二 除外ノ期間ハ事業年度ニヨリ一ケ年以内タルコトヲ要ス但シ重ネテ除外ヲ求ムル事ヲ得
- 三 會長除外ノ承認ヲ求ムル書面ヲ受取リタル時ハ專決ニヨリ又ハ理事會ニ諮リ書面ヲ受取リタル日ヨリ三十日以内ニ諾否ノ回答ヲナス但シ承認ヲ與フル場合ハ出席シタル理事會全員ノ三分ノ二以上ノ同意アルヲ要ス
- 四 會長除外ノ承認ヲ與ヘタル時ハ其聯合會名又ハ組合名、除外ノ俵數、出荷先又ハ賣却先及除外ヲ承認シタル理由ノ概略ニ付本會所屬聯合會又ハ組合ニ通知スルモノトス

- 五 會長ハ除外承認ニ關スル理事會ニ除外ヲ求メタル聯合會又ハ組合ノ代表者ヲシテ出席セシメ質疑ニ應答セシムルコトヲ得但シ討議ニ參加セシムルコトヲ得ス
- 六 除外承認ニ關スル理事會ニ於テハ討議進行上必要ニヨリ利害關係者ノ退席ヲ要求スル事ヲ得
- 七 除外承認ノ審議ハ左ノ場合ニ限ルモノトス
  - 1 關東大震災火災燒失生絲關係
  - 2 當該聯合會又ハ組合ノ存立ニ關スル場合

### 過怠金徵收規程

(昭和八年七月二十一日總會決議)

- 第一條 定款第三十九條ノ二ノ規程ニ依リ徵收スヘキ過怠金ノ額ハ所屬聯合會又ハ所屬組合カ定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタルト認メタル生絲ノ俵數ニ應シ其生絲ノ出荷又ハ販賣當時ノ時價(理事會推定スルモノトス)ノ二割ニ相當スル金額トス
- 第二條 定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタルモノト認メタル俵數及徵收スヘキ過怠金ノ額ヲ決定シタルトキハ當該所屬聯合會又ハ所屬組合ニ其金額及納付ノ適怠金徵收規程



期日ヲ通知スルモノトス

第三條 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ通知ヲ受ケタル後定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ生絲ヲ他ニ出荷シタル事實ナキコト又ハ其出荷俵數ニ相違アルコトヲ證明シタル場合ハ過怠金ヲ免除シ若ハ其金額ヲ輕減スルモノトス

第四條 所屬聯合會又ハ所屬組合第二條ノ通知ヲ受クル前ニ於テ他ニ出荷シタル事實ニ付本會ニ對シ詳細ニ報告シ且再ヒ之ヲ繰返ササル旨ヲ誓約シタル場合若ハ止ムコトヲ得サル事情アリト認めタル場合ハ過怠金ノ徵收ヲ免除シ若ハ其金額ヲ輕減スルコトヲ得

前項ノ過怠金ノ免除又ハ輕減ノ割合ハ理事之ヲ定ム

第五條 過怠金ノ納付ヲ怠リタリトキハ期日後一日ニ付納付スヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル遅延料ヲ徵收ス

### 本會へ加入組合ノ出資口數取得標準

(昭和七年七月二十二日役員會決議)

本會加入ノ聯合會又ハ組合ノ出資口數ハ設備釜數五十二付一口ノ割合トス五十二充タサル

端數ハ三十五釜以上ハ之ヲ五十釜ト見做ス一釜當リ生絲生産高過少ナル聯合會又ハ組合(新設聯合會又ハ組合ヲ除ク)ノ出資口數ハ前項ニ拘ラス一ケ年平均(最近三ケ年平均)生産高七十五俵ニ付一口ノ割合トスルコトヲ得七十五俵ニ充タサル端數ハ五十俵以上ハ之ヲ七十五俵ト見做ス  
通常一臺一人持二十條以内ノ多條繰器械ハ一臺ヲ以テ一釜ト見做ス  
一臺二十一條以上ノ多條繰器械ハ其ノ器械ノ一人持通常條數ヲ以テ總條數ヲ除シテ得タル數ヲ以テ釜數ト見做ス  
以上各項ニヨリ適當ニ出資口數ヲ定メ難キ場合又ハ一釜當リ生産高異常ニ多量ナル聯合會又ハ組合ノ出資口數ハ會長ノ決スル處ニヨリ定ム

### 共同計算ニ關スル總會決議

(昭和八年四月二十八日臨時總會決議)

一 定款第四十五條ニ依ル生絲販賣代金配分期間、品等數量査定方法、各品等間ノ格差決定方法及假配分方法

1 生絲販賣代金配分期間ハ曆月ニ依ル一ケ月トシ生絲検査所檢定證日附カ此期間ニ屬スルモノヲ之ニ編入ス

共同計算ニ關スル總會決議



2 品等數量査定方法ハ生絲検査所ニ於ケル格付検査及正量検査ニ依ル

3 各品等間ノ格差決定方法ハ左記ニ依ル  
(一) 目的織度ニ依リ白十四中、白廿一中、黄廿一中ノ三區分トス  
(二) (イ) 配分期間中ニ於ケル日々各格ノ標準相場(相場ニ變動アリタルトキハ安値)ノ平均ヲ算出ス

(白十四中ハA格ヨリE格迄、白黄廿一中ハA格ヨリD格迄トス)  
(2) 白十四中ハD格、白黄廿一中ハA格ヲ以テ標準格トシ各格ノ平均相場ト標準格ノ平均相場トノ差ヲ求メ之ヲ各格ノ格差金トス

(3) 各格ノ格差金ニ夫々其ノ格ノ販賣斤數ヲ乘シ格毎ニ格差金ノ合計額ヲ求メ標準格以上ノ分ノ合計額ト標準格以下ノ分ノ合計額トヲ差引キテ格差金總額ヲ求ム

(4) 販賣實收總金額ヨリ格差金總額ヲ差引キタル殘額ヲ販賣總斤數ヲ以テ販賣一入格ニ除シテ得タル商ヲ標準格ノ配分單價トス

(5) 標準格ノ配分單價ニ各格差金ヲ加減シタルモノヲ各格ノ配分單價トス  
(1) 實際販賣單價カ品質又ハ數量ノ關係ニ依リ當該格標準相場(相場ニ變動アリタルトキハ販賣時ニ於ケル相場)ニ比シ差ヲ生シタル場合ハ其額タケ切離シテ其ノ荷口毎ニ計算ス

(2) 白十四中AAA格及FG格白黄廿一中AAA及EFG格ノ實際ノ販賣單價ト其ノ日ノ標準相場(同前)トノ差額ハ之ヲ切離シテ其ノ荷口毎ニ計算ス

二 假配分方法決定ノ件

1 假配分ハ販賣代金ノ入手シタル金額ノ範圍ニ於テ販賣済ト否トニ拘ラス格付検査ノ終了シタルモノニ對シ次ノ順位ニヨリ荷口單位ニ之ヲ行フ

イ 檢定證日附  
ロ 檢定證日附カ同一ナル場合ハ檢定證番號順ニ依ル  
2 假配分限度ハ該當格標準相場ノ百分ノ九十以内トス



# 五 保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會 定款

變更昭和六年八月十九日認可  
昭和八年二月二十八日改正決議  
昭和八年六月十六日改正決議  
昭和八年十二月二十八日改正決議

## 第一章 總 則

第一條 本會ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

一 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ販賣スル物ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ販賣スルコト

二 政府米ヲ買入レ之ニ加工シ又ハ加工セスシテ之ヲ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ賣却スルコト

三 農業倉庫業法ニ依リ聯合農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

第二條 本會ハ保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會ト稱ス

第三條 本會ノ組織ハ有限責任トス

保證金額ハ出資一口ニ付キ金五百圓トス

第四條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス

第五條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市牛込區揚場町二十一番地ニ從タル事務所ヲ大阪市北區玉江町一丁目二番地及門司市東本町二丁目三千百二番地ニ置ク

第六條 所屬聯合會又ハ所屬組合ハ販賣事業若ハ販賣購買事業ヲ行フ産業組合聯合會又ハ産業組合ニ限ル但シ所屬組合ハ農業倉庫經營ノモノタルコトヲ要ス

第七條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出ハ毎年十月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲ス

第八條 産業組合法ニ依ル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第九條 本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス

二 準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス

三 其ノ他ノ財産ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ平等トス

本會ニ損失アリ準備金ヲ以テ填補シタルトキハ之ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本會財産カ出資總額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ算定ス

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス  
 第十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通  
 知スルコトヲ要ス但シ第四號及第五號ノ事項ハ每事業年度末ニ之ヲ報告スヘシ  
 一名 稱 平 等  
 二 事務所  
 三 出資ノ口ノ金額  
 四 出資ノ總口數  
 五 拂込ミタル出資ノ總額

### 第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ金五百圓トス  
 第十二條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金百圓以上トス  
 第十三條 第二回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外加入又ハ増  
 口シタル年度ヲ除キ出資一口毎ニ毎年十月十五日迄ニ金百圓以上宛拂込ムモノトス但シ  
 増口ニ付テハ一口毎ニ金五拾圓以上トス  
 第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其ノ拂込ムヘキ金額ノ二千分ノ一  
 有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款  
 七四九

ニ當ル過當金ヲ徴收スルモノトス  
 第十五條 本會ハ出資總額下同額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金  
 トシテ積立ツルモノトス  
 第十六條 過當金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ組入ルルモノトス  
 第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得  
 本會ハ聯合農業倉庫ノ新築、増築、改築、移築又ハ買入ノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタル  
 トキハ之ヲ聯合農業倉庫減價償却積立金トシテ積立ツルモノトス  
 第十八條 準備金及特別積立金ハ損失ノ填補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總會ノ決  
 議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得  
 聯合農業倉庫減價償却積立金ハ聯合農業倉庫ノ減價償却ニ充ツルモノトス

### 第三章 機關

第十九條 本會ニ理事十名、監事四名ヲ置ク  
 理事ハ會長一名、専務理事五名ヲ互選ス  
 第二十條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス  
 會長事故アルトキハ専務理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル  
 専務理事ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理ス  
 有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款  
 七八九



第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄仍在任スルモトス

會長及専務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補選選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事前任者ノ任期ヲ繼承ス

增員ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ現任ノ理事又ハ監事ノ任期ニ從フ

第二十二條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ職員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其ノ補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 理事及監事ハ名譽職トス但シ總會ノ決議ニ依リ會長及専務理事ハ之ヲ有給トスルコトヲ得

理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十四條 通常總會ハ毎年一回十一月又ハ十二月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不正ノ賤アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必要ト認メタルトキ
- 三 理事ノ缺ケタルトキ

四 總所屬聯合會及所屬組合ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ提出シテ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十五條 總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ十日前ニ書面ヲ以テ各所屬聯合會及所屬組合ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十六條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會總會ニ出席セシムル爲代表者一名ヲ定メ本會ニ用出ツルコトヲ要ス其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第二十七條 總會ハ總所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會又ハ所屬組合ノ除名、解散及組織變更ノ件ハサル合併ノ決議ハ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限り豫メ通知ナキモノト雖モ其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第二十八條 總會ノ議長ハ會長之ニ當リ會長事故アルトキハ専務理事ノ互選ニ依リ其ノ一名之ニ代ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テ

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款

七九一



ハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第二十九條 所屬聯合會又ハ所屬組合ハ三以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ時期、場所、出席者ノ員數及會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十一條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十二條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總會ノ決議ヲ經テ會長之ヲ推薦シ本會ノ事業ヲ援助ス

相談役ハ理事之ヲ推薦シ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

顧問及相談役ノ任期ハ理事ノ任期ニ依ル

第三十三條 本會ニ主事、技師、主事補、技手及書記若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

### 第四章 事業執行

#### 第一節 通則

第一節 通則

第三十四條 本會ノ事業年度ハ十一月一日ニ始マリ翌年十月三十一日ニ終ルモノトス

第三十五條 本會ノ餘裕金ハ產業組合中央金庫、郵便局若ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入シ又ハ之ヲ以テ國債證券、地方債證券、復興貯蓄債券、產業債券、勸業債券、興業債券、北海道拓殖債券、若ハ農工債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ運用スルコトヲ得ス但シ所有シ得ヘキ有價證券ノ額ハ國債證券及地方債證券ヲ除キ準備金其ノ他ノ積立金ノ合計額ヲ超ユル事ヲ得ス

第三十六條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

#### 第二節 販賣

第三十七條 本會ニ於テ販賣スル物左ノ如シ

一 米、麥、豆、菜種

二 其他總會ノ決議ヲ經タル物

第三十八條 本會ニ於テ爲ス加工ハ精穀トス

第三十九條 理事ハ適宜ノ時期ニ於テ各所屬聯合會及所屬組合ノ販賣物ニ付報告ヲ徴シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第四十條 本會ハ毎事業年度ノ始メニ於テ各所屬聯合會ノ區域内ニ在ル販賣組合及農業倉庫ノ販賣スル米ノ前三箇年平均數量ノ合計ノ三割以上ニ相當スル米ノ數量ノ總計ヲ總會ノ定ムル方法ニ依リ所屬聯合會ニ割當ツルモノトス

保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



所屬聯合會ハ前項ノ規定ニ依リ割當テラレタル數量ノ米ノ販賣ヲ年度内ニ本會ニ委託スルコトヲ要ス

所屬聯合會ノ販賣ヲ委託シタル米カ前項ノ割當數量ニ達セサルトキハ其ノ不足數量ニ相當スル販賣歩合金額ヲ違約金トシテ徴收スルモノトス

但シ理事ハ凶作ノ爲メ收穫著シク減少シタル地方ノ所屬聯合會ニ對シテハ其ノ程度ニ應ジ特ニ違約金ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第四十條ノ二、前條ノ規定ハ小麥ニ付之ヲ準用ス但シ所屬聯合會ニ對スル割當數量ハ當分ノ間前條第一項ノ規定ニ拘ラス總會ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第四十一條 本會カ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ其ノ販賣セントスル物ヲ受取りタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ其ノ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ通知スルモノトス本會ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ物ニ付亦同シ

品等査定ノ方法及標準ハ豫メ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ定ム

第四十二條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ販賣委託物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第四十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ販賣委託物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム但シ米ニ付テハ其ノ公定最低價格及時價ノ範圍内ニ於テ之ヲ増加スルコトヲ得

前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩三錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第四十四條 所屬聯合會及所屬組合ヨリ委託ヲ受ケタル物ヲ販賣シタル場合ニハ遲滞ナク之カ代金ヲ支拂フモノトス

第四十五條 本會カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ委託者ヨリ一俵ニ付四錢以内ニ於テ理事ノ定メタル販賣歩合金ヲ徴收スルモノトス但シ第三十七條第二號ノ物品ニ對スル販賣歩合金ハ總會ニ於テ之ヲ定ムルモノトス

第四十六條 受託物中本會ニ於テ精穀、調製、俵裝其ノ他特殊ノ勞資ヲ加エタルモノニ付テハ別ニ料金ヲ徴收スルモノトス

前項ノ料金ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第四十七條 販賣假渡金並其ノ利息、販賣歩合金、違約金及前條ノ料金ハ代金支拂ノトキ之ヲ差引クモノトス

第三節 購買

第四十八條 本會ニ於テ賣却スル物ハ政府米トス

第四十九條 本會ニ於テ爲ス加工ハ精白トス

第五十條 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應ジ政府米ヲ便宜買入ルルモノトス

第五十一條 購買ノ申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込者ノ購買必要ノ程度及其ノ申込者カ本會ニ販賣ヲ委託シタル米ノ數量等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第五十二條 所屬聯合會又ハ所屬組合ニ賣却スル政府米ノ代價ハ拂下價格ヲ標準トシテ理

保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



事之ヲ定ム

第五十三條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ時期ヲ指定シテ所屬聯合會又ハ所屬組合ヲシテ其ノ注文シタル政府米ノ拂下價格ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第五十四條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ヨリ政府米引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滯ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ引取ヲ怠リ又ハ之ヲ爲ササルトキハ本會ニ於テ其ノ契約ヲ解除シ之ニ依リ生シタル損害ヲ賠償セシムルコトヲ得

第五十五條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ購買スル政府米ト引換ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス

第四節 聯合農業倉庫

第五十六條 第一條第三號ノ業務ハ聯合農業倉庫業務規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ前項ノ規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補

第五十七條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ事業ノ終了ニ對スル配當金、拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、特別積立金、役員費與又ハ繰越金ト爲スモノトス

第五十八條 事業ノ分量ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ各種事業ノ成績ヲ參酌シ當該年度ニ於ケル販賣歩合金又ハ購買品賣却價格ニ應スルモノトス但シ配當ノ率ハ其ノ計算ノ基礎トナルヘキモノノ種類ニ依リ之ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度ノ終リニ於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ團位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第五十九條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ特別積立金及準備金ヲ以テ填補スルコトヲ得

第五十九條ノ二 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ所屬聯合會及所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル所屬聯合會及所屬組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入増口及脱退

第六十條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ左ノ書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス

一 定款ノ謄本

二 最近作製シタル貸借對照表

三 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ抄本

前項ノ申込書ニハ設立許可ノ年月日並理事及監事ノ氏名住所ヲ附記スルコトヲ要ス  
理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメ  
有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



加入ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第六十二條ノ場合ハ加入承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第六十一條 所屬聯合會又ハ所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ添付書類及申込書ノ附記ヲ要セサルノ外前條ノ規定ヲ準用ス

第六十二條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス  
持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第六十條第一項第二項及第三項ノ規定ヲ準用ス

第六十三條 所屬聯合會又ハ所屬組合脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末十箇月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十四條 所屬聯合會又ハ所屬組合ハ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金違約金ノ納付又ハ購買品買却代金ノ支拂ヲ怠リ一箇月内ニ其ノ義務ヲ履行セサルトキ
- 二 自己ノ販賣スル物ニ非サル物ノ販賣ヲ委託シタルトキ
- 三 本會ノ事業ヲ妨タル所爲アリタルトキ
- 四 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十五條 所屬聯合會又ハ所屬組合脱退シタル場合ニ於テ拂戻スヘキ持分額ハ其ノ拂込済出資額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ因ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ノ半額ニ止ムルモノトス

### 第七章 解散

第六十六條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

### 第八章 附則

第六十七條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

## 有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會 聯合農業倉庫業務規程

### 第一章 總則

第一條 本會ノ聯合農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス  
有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製改裝及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
- 五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ本會ニ所屬セサル組合又ハ聯合會ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本會ハ左ノ物品ノ寄託ヲ受ケルモノトス

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物

- 二 聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第十九條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物

前項ノ穀物ノ品目左ノ如シ

米(玄米、精米、粳)麥(大麥、小麥、裸麥、燕麥)

第三條 本會ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り左ノ物品ノ寄託ヲ受ケ

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品
- 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品
- 三 聯合農業倉庫業者カ保管スル前二號ノ物品

前項ノ物品ノ種類左ノ如シ

玄米、精米、粳、大麥、小麥、裸麥、燕麥、大豆、小豆、菜豆、木炭、砂糖、菜種、鶏卵

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

- 一 所屬聯合農業倉庫業者カ農業倉庫業法第十九條第一項又ハ第二項ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ及所屬農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ

- 二 本會ニ所屬セサル聯合農業倉庫業者及農工倉庫業者カ前號ニ依リ寄託ヲ受ケタルモノ

- 三 所屬販賣組合聯合會又ハ所屬販賣組合カ賣却スル物品
- 四 本會ニ所屬セサル販賣組合聯合會又ハ販賣組合カ賣却スル物品
- 五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

玄米、精米、粳、大麥、小麥、裸麥、燕麥、大豆、小豆、菜豆、木炭、砂糖、菜種、鶏卵

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアル

ヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキハ其ノ農業倉庫ノ寄託者又ハ

保證責任全國米販賣購買組合聯合會定款



證券所持人ハ本會ノ寄託者トス  
 聯合農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルトキ亦同シ  
 第七條 本會ノ聯合農業倉庫業ニ關スル公告ハ本會ノ揭示場ニ揭示シ且官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第二章 入出庫手續及保管

第八條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ第一號様式ニ準スル申込書ヲ差出スヘシ  
 道府縣、同業組合、農業倉庫又ハ聯合農業倉庫ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其ノ等級ヲ寄託申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ  
 第九條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ第二號様式ノ入庫票ヲ寄託申込者ニ交付ス  
 第十條 受寄物保管ノ場所及保管方法ハ本會之ヲ定ム  
 種類及品位ノ同一ナル物品ハ左ノ倉庫ニ於テ混合保管ヲ爲スコトアルヘシ  
 一 東京倉庫第一號乃至第四號倉庫  
 二 大阪倉庫第一號乃至第三號倉庫  
 三 門司倉庫第一號乃至第三號倉庫  
 寄託ノ申込ニ際シ持ニ保管ノ場所又ハ保管ノ方法ヲ指定シ本會之ヲ承諾シタルトキハ前二項ニ依ラサルコトヲ得

第十一條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規程ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位等級ヲ査定ス  
 前項ノ検査ハ道府縣、同業組合、農業倉庫又ハ聯合農業倉庫ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハサルコトアルヘシ

第十二條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應ジ燻蒸ヲ行フコトアルヘシ

第十三條 受寄物中變質、腐敗其ノ他ノ原因ニ依リ保管ニ適セス又ハ他ノ受寄物若ハ倉庫ニ損傷ヲ及ホス虞アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ請求シ又ハ保管期限前ト雖モ其ノ受寄物ノ出庫ヲ請求スルコトアルヘシ  
 前項ノ處置又ハ寄託物ノ引取ヲ怠リタル爲ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第十四條 保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六ヶ月以内トス  
 第一項ノ場合ニ於テ緊急ノ必要アリト認ムルトキハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ノ有無ニ拘ラス其ノ者ノ費用ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス因テ生シタル損害ハ本會其ノ責ニ任セス

第十五條 保管期間ハ寄託ノ日ヨリ六ヶ月以内トス  
 第二條ノ規定ニ依ル寄託物ニシテ組合又ハ聯合會ニ於テ保管中其ノ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求メニ應スルモノトス

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



前項ノ更新期間ハ六ヶ月ヲ超エサルモノトス

第十五條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十九條ノ規定ニ依リ發行シタル倉荷證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十六條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應ジ之ヲ引渡スモノトス

第十七條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シ等ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十八條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ引取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ附スルコトアルヘシ

### 第三章 證券

第十九條 本會ハ寄託者ノ請求アルトキハ第三號様式ノ倉荷證券ヲ交付ス

第二十條 前條ノ倉荷證券ハ受寄物ニ付組合又ハ聯合會ニ於テ發行シタル倉荷證券ニシテ裏書禁止シタルモノ若ハ倉荷證券發行ナキ旨ノ證明書及本會ニ於テ交付シタル入庫票ト

引換ニ之ヲ交付スルモノトス但シ第三條第一項第二號ノ物品ノ倉荷證券ハ入庫票ト引換ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ本會ニ於テ受取リタル組合又ハ聯合會發行ノ倉荷證券ハ本會ニ於テ消印シタル上之ヲ本會ニ保存スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ本會ニ保存スル倉荷證券ハ受寄物ヲ出庫シタルトキ之ヲ寄託申込者ニ返戻スルモノトス

第二十二條 第十九條ノ倉荷證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ保證人ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シテ受寄物ノ出庫若ハ倉荷證券ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 倉荷證券ノ分割、書換又ハ再交付ノ請求アリタルトキハ本會ハ所定ノ手数料ヲ收受クヘシ

### 第四章 損害及保險

第二十四條 本會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失、纏切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ天災、事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ基ク損害及保險者カ填補ノ責任ヲ有スル損害又ハ寄託者ノ申出ニ依リ保險ニ附セサル損害ニ付テハ此ノ限りニ在ラス

第二十五條 本會ノ賠償ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ受寄物ニ付生シタル損害額ハ時價ニ據有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款



リ算出ス

八〇六

第二十六條 受寄物ニ付本會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖モ重大ナル損害アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公告ス

第二十七條 混合保管ヲナス受寄物ニ付損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ數量ニ應シ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十八條 本會ハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖モ其ノ者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ附スルモノトス

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ承諾ヲ得テ前二項ノ規定ト異ナル特約ヲ爲スコトヲ得保險料ハ實費ヲ標準トシテ理事之ヲ定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十九條 受寄物ノ火災保險ニ付テハ總テ本會ト保險者トノ契約ニ依ルモノトス  
火災保險金ハ本會ヲ經テ授受スヘキモノトス

第三十條 本會必要ト認ムル場合ハ受寄物ヲ運送保險ニ附スルコトアルヘシ  
前項ノ場合ハ前二條ノ規定ヲ準用ス

第三十一條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ受寄物ヲ倉庫ニ引渡ス迄ニ生シタル損害ニ付テハ第二十四條乃至第二十七條ノ規定ヲ準用ス

## 第五章 調製、俵裝、販賣、運送及貸付

第三十二條 受寄物ノ調製、改裝、荷造、運送ノ仲立者ハ取次又ハ販賣ノ仲立者ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ倉荷證券ヲ呈示スルコトヲ要ス

第三十三條 受寄物ニ付調製、改裝又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ倉荷證券ニ其ノ料金額ヲ記入シ受寄物ノ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第三十四條 受寄物ニ付運送ノ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ必要アルトキハ一定數量ニ對スル迄之ヲ取纏ムルコトアルヘシ

第三十五條 運送ノ仲立及取次ノ手数料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徴收ス

第三十六條 販賣ノ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ  
販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十七條 本會ニ於テ爲ス貸付ハ倉荷證券面記載ノ受寄物ノ時價ノ八割以内日歩三錢以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

## 第六章 保管料其ノ他ノ料金

有限責任全國米穀販賣購買組合聯合會定款

八〇七



第三十八條 本倉庫ニ於ケル保管料ハ一ヶ月ヲ左ノ期間ニ分チ一期ニ付之ヲ定ム但シ一期

ニ滿タサル日數ニ付テモ一期トシテ之ヲ計算ス

一 東京及大阪倉庫ニ於テハ一ヶ月ヲ左ノ三期トス

イ、一日ヨリ十日迄

ロ、十一日ヨリ二十日迄

ハ、二十一日ヨリ其ノ月末日迄

二 門司倉庫ニ於テハ一ヶ月ヲ左ノ二期トス

イ、一日ヨリ十五日迄

ロ、十六日ヨリ其ノ月末日迄

第三十九條 受寄物ノ保管料、販賣手数料、入出庫料及其ノ他ノ料金ハ左ノ範圍ニ於テ理

事之ヲ定メ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス但シ入出庫ニ付テ特別ナル費用ヲ要シタル場

合ニ於テハ其ノ實費ヲ徴收スルモノトス

一 米、麥、菜種、豆(一俵ニ付)

イ、混合保管料

特定保管料

ロ、販賣手数料

ハ、入出庫料

東京及大阪倉庫  
門司倉庫  
二錢以内  
三錢以内  
四錢以内  
四錢以内

ハ、入出庫料(貨車卸料、引込料、入庫料、出庫料、入庫料、出庫料) 八錢以内

二 砂糖(一樽又ハ一袋ニ付)

イ、混合保管料

特定保險料

ロ、販賣手数料

ハ、入出庫料

東京及大阪倉庫  
門司倉庫  
四錢以内  
六錢以内  
六錢以内  
八錢以内  
五錢以内

三 木炭(十五疋俵(四貫俵)一俵ニ付)

イ、混合保管料

特定保管料

ロ、販賣手数料

ハ、入出庫料

東京及大阪倉庫  
門司倉庫  
一錢五厘以内  
二錢三厘以内  
二錢以内  
三錢以内  
二錢以内  
八錢以内

十五疋俵(四貫俵)以外ノモノニ付テハ理事之ヲ定ム

四 鶏卵(一箱ニ付)

イ、混合保管料

東京及大阪倉庫  
門司倉庫

三錢以内  
四錢以内

保證責任全國米穀販賣購買組合聯合會聯合農業倉庫業務規程 八〇九



特定保管料 一期二付 東京及大阪倉庫 四錢以內  
 販賣手数料 門司倉庫 五錢以內  
 入出庫料 八錢以內

五、證券發行其ノ他ノ料金(一通ニ付)

イ、證券發行手数料 一〇錢以內  
 ロ、證券再發行手数料 二〇錢以內  
 ハ、證券書換手数料 一〇錢以內  
 ニ、證券分割手数料 一〇錢以內  
 ホ、入庫票再發行手数料 五錢以內

第四十條 受寄物ノ看賞、調製、改装、荷造、見本摘出等ニ關スル料金ハ實費ヲ標準トシテ理事別ニ之ヲ定ム

第四十一條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託スル場合ニ在リテハ保管料、保險料、手数料及運賃ハ聯合農業倉庫業者又ハ他ノ倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ交付スル際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第七章 聯合農業倉庫業者及他ノ倉庫業者ニ對スル寄託

第四十二條 寄託者又ハ證券所持人ノ請求ニ依リ又ハ本會ニ於テ必要ト認メタルトキハ寄託者若ハ證券所持人ノ承諾ヲ得テ其ノ受寄物ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ

一、東京倉庫ニ於テハ

イ、保證責任秋田縣販賣購買組合聯合農業倉庫

ロ、保證責任北海道信用購買販賣組合聯合農業倉庫

ハ、有限責任千葉縣販賣購買組合聯合農業倉庫

ニ、東京倉庫運輸株式會社倉庫

ホ、東神倉庫株式會社東京支店倉庫

ヘ、三菱倉庫株式會社東京支店倉庫

ニ、澁澤倉庫株式會社倉庫

チ、東京倉庫株式會社倉庫

リ、帝國倉庫運輸株式會社倉庫

ヌ、株式會社住友倉庫東京支店倉庫

ル、乾倉庫土地株式會社倉庫

ヲ、日本倉庫株式會社倉庫

二、大阪倉庫ニ於テハ

イ、保證責任兵庫縣販賣購買組合聯合農業倉庫  
 ロ、有限責任京都府購買販賣利用組合聯合農業倉庫  
 ハ、株式會社住友倉庫道頓堀支店倉庫  
 ニ、東神倉庫株式會社大阪支店倉庫  
 ホ、三菱倉庫株式會社大阪支店倉庫



三、門司倉庫ニ於テハ

- イ、三菱倉庫株式會社門司支店倉庫
- ロ、東神倉庫株式會社門司支店倉庫
- ハ、遊澤倉庫株式會社門司支店倉庫

前項ノ場合ニ於テ受寄物ノ質權者アルトキハ其ノ承諾ヲ得ルモノトス

第四十三條 前條ノ寄託ヲ爲ス場合ニ於テハ寄託者又ハ證券所持人ハ第四號様式ノ請求書又ハ第五號様式ノ承諾書ニ本會ノ發行シタル入庫票又ハ倉荷證券ヲ添へ本會ニ差出スヘシ

前條第二項ノ場合ニ於テハ質權者ノ承諾ヲ證スル書面ヲ添付スヘシ

第四十四條 前條ノ規定ニ依リ本會ノ受取リタル倉荷證券ニハ裏書禁止ヲ爲シ第四十二條ニ規定スル倉庫ニ寄託スル旨ヲ記入シ本會ニ於テ之ヲ保管ス

第四十五條 第四十二條ノ規定ニ依リ寄託ヲ爲ス場合ニ於テ倉荷證券ノ發行ナキトキハ寄託者ノ請求ニ依リ其ノ旨ノ證明書ヲ交付スヘシ

第四十六條 聯合農業倉庫業者又ハ他ノ倉庫業者ヨリ受取リタル入庫票又ハ倉荷證券ハ本會カ販賣ノ委託ヲ受ケサル場合ニ限り之ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ交付ス

第八章 損益計算

第四十七條 本會ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本會ノ定款ノ規定ニ依ル

六、全國產業組合製絲組合聯合會會則

昭和七年二月十日認可

第一章 總則

第一條 本會ハ產業組合製絲組合相互ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 產業組合製絲組合相互ノ聯絡及統制ニ關スル施設
- 二 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
- 三 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
- 四 產業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
- 五 產業組合製絲ニ關スル研究及調査
- 六 產業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁

全國產業組合製絲組合聯合會會則



七 前各號ニ掲タルモノノ外會員ノ聯絡ヲ圖リ其ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル施設

第三條 本會ハ全國産業組合製絲組合聯合會ト稱ス

第四條 本會ノ地區ハ全國トス

第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク

第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス

會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス

一 會員ノ名稱及事務所

二 經費賦課ノ基礎ト爲ルヘキ事項

三 議員及豫備議員ノ配當數

會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スヘシ

第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ産業組合製絲ニ關スル統制施設ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ

受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス

第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十條 本會ハ會員ニ對シ産業組合製絲ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ

得

第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本會ニ其ノ旨届出ツヘシ

第七條第二項第一號又ハ第二號ニ掲クル事項ニ變更アリタルトキ亦同シ

### 第二章 役員、職員、日本中央蠶絲會議員及相談役

第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 二名

評議員 七名

第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長、其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十六條 役員ニ關員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス

第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス

役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

全國産業組合製絲組合聯合會會則



第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス其ノ代理ノ順序ハ會長ノ定ムル所ニ依ル

會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

一 庶務ニ關スル事項

二 三百圓未満ノ金錢ノ收支ニ關スル事項

第十九條 評議員ハ會務ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ジ竝ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス

評議員ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

一 總會ニ提出スヘキ議案ニ關スル事項

二 臨時總會ノ招集ニ關スル事項

三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項

四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第二十條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ招集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス

第二十一條 役員ハ名譽職トス

役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得

第二十二條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス

主事 一 名

主事補 若干名

技師 若干名

技師手 若干名

書記 若干名

主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス

主事補ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理ス

技師又技師手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ従事ス

書記ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ニ従事ス

第二十三條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十四條 日本中央製絲會ノ議員及豫備議員ハ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第二十六條 本會ニ相談役ヲ置クコトヲ得

相談役ハ總會ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託シ其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ス

相談役ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議

全國產業組合製絲組合聯合會會則



決ニ加ハルコトヲ得ス

### 第三章 會議

第二十七條 本會ニ總會ヲ置ク

第二十八條 議員及議員事故アル場合之ニ代ルヘキ豫備議員ハ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ之ヲ選任ス

議員ノ定數ハ本會設立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ毎四事業年度ヲ一期トシ各期ニ付左ノ各號ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス但シ一會員ニ付六人ヲ超ユルモノニ在リテハ之ヲ六人トス

- 一 當該期ノ最初ノ事業年度ニ於ケル經費ノ分擔金年額三百圓以下ニ付一人トシ尙三百圓ヲ超ユル部分ニ付五百圓又ハ其ノ端數ヲ増ス毎一人ヲ増加ス
  - 二 當該期ノ最初ノ事業年度後ニ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ會員ト爲リタル日ノ屬スル事業年度ニ於ケル其ノ經費ノ分擔金年額ニ其ノ事業年度ニ於ケル本會ノ經費ノ分賦總額ヲ以テ當該期ノ最初ノ事業年度ニ於ケル本會ノ經費ノ分賦總額ヲ除シテ得タル率ヲ乘シタル額ニ依リ前號ノ規定ニ準シ配當ス
- 前項ノ規定ハ豫備議員ノ定數ニ付之ヲ準用ス

豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ルヘキモノノ順位ハ會員タル産業組合製絲組合ニ於テ之ヲ定ムヘシ

第二十九條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度本會ニ届出ヲヘシ

第三十條 第十七條及第二十一條ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十一條 左ニ掲クル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲クル事項ニシテ日本中央製絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 生絲ノ生産調節ニ關スル施設並ニ生絲ノ販賣數量及販賣價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 生絲ノ規格統一
- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金
- 七 基本財産ノ造成、管理及處分
- 八 會則ノ變更
- 九 役員ノ選任及解任
- 十 日本中央製絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任

全國産業組合製絲組合聯合會會則



十一 本則施行ニ關スル重要ナル諸規程ノ制定並ニ變更

第三十二條 總會ハ會長之ヲ招集ス

第三十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年十一月又ハ十二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

一 會長必要ト認ムルトキ

二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

三 評議員カ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セサルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ招集スルコトヲ得

第三十四條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ三週間前ニ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ會員ニ通知スヘシ

第三十五條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十六條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、製絲業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四條第三

項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第三十三條第二項第三號ノ請求ニヨリ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十七條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場合ヲ除クノ外出席者ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十八條 第三十一條第三號、第四號、第八號及第九號ニ掲クル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半數以上出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十九條 總會ノ議決ヲ經ヘキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ總會ノ決議ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ七日ヲ下ラサル回答期限ヲ定ムヘシ

第四十條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲クル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スルモノトス

一 開會ノ日時及場所  
二 總會ヲ組織スル者ノ數  
三 出席者數

四 議事ノ要領  
全國產業組合製絲組合聯合會會則



五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四十二條 本會ニ評議員會ヲ置ク

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

### 第四章 會計

第四十三條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ賦課スルモノトス

一 平等割

二 釜數割

三 生絲産額割

第四十四條 本會ハ必要ニ應シ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ又ハ實費ノ辨濟ヲ受クルコトヲ得ルヘシ

前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十五條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨濟金ヲ滯納スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スヘシ

第四十六條 本會ハ金員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クルコトヲ得

第四十七條 本會ハ基本財産ヲ設ク

支途ヲ特定セサル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ編入ス基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四十八條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産彙帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第四十九條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但シ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スルヲ防ケス

第五十條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

### 第五章 過怠金

第五十一條 會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

二 本會ノ事業ノ執行ヲ妨ケタルトキ

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ過怠金ヲ課ス

一 第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲ササルトキ

全國産業組合製絲組合聯合會會則



二 第四十五條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セサルトキ  
第五十二條 過怠金徴收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スルコトヲ要ス

第六章 解散

第五十三條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第五十四條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清算人トス

第五十五條 清算人ハ就任後還滯ナク財産目錄ヲ作成シ之ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第五十六條 清算結了シタルトキハ清算人ハ還滯ナク決算報告書ヲ總會ニ提出シテ其ノ旨報告スヘシ

明治四十年十二月八日初版發行  
明治四十一年七月十六日再版發行  
昭和九年十月十五日第六十一版增補發行

正價金五十錢

發行所 産業組合中央會

東京市麴町區有樂町一ノ九  
電話丸ノ内 二五五二、二五五三、二五五五  
振替貯金口座東京四七二四番

發行著者 千石 興太郎

東京市麴町區有樂町一ノ九

印刷著者 鈴木 茂

東京市京橋區築地四ノ四

印刷所 中屋三間印刷株式會社

東京市京橋區築地四ノ四



著作權所有



第四十五條ノ規定ニ依リ決定スル所ニテ之ヲ承認セサルハ  
東京市京師海陸交通會  
中星三圓明開利友會

明誠會

東京市京師海陸交通會



報社

東京市京師海陸交通會

第五十條ノ規定ニ依リ決定スル所ニテ之ヲ承認セサルハ  
東京市京師海陸交通會

# 發行所 漁業聯合中央會

第五十六條ノ規定ニ依リ決定スル所ニテ之ヲ承認セサルハ  
東京市京師海陸交通會

五冊金正十錢





364

250



